



先祖と祖先はどうちがうの

「先祖」も「祖先」もほとんど同じ意味

わたしたちは、なにげなく「先祖」といったり「祖先」といったりしています。どちらも、同じ意味と考えているからです。

「先祖」とは、その家系のいちばんはじめの人をさし、初代ともいいます。また、今、生きている人より、以前の代の人々のことをさして、「先祖」ともいいます。

一方、「祖先」とは、その家系のいちばんはじめにあたる人をいいます。また、今の代より前の人々をもさします。

これらを見ると、「先祖」も「祖先」も、ほとんど同じ意味といえます。

さて、「祖先」には、現在あるものの、もとのものという意味もあり、「人類の祖先」というような言い方をします。

「祖先」は「先祖」よりも、客観的な立場にたっていることばといえます。その意味からすると、「祖先」と「先祖」にはちがいがあることになります。

「先祖」「祖先」の反対語は「子孫」

「先祖」「祖先」の反対語は、「子孫」といいます。「子孫」とは、先祖から代々血がながっている人々をいいます。また、特に、子や孫など、自分よりあとの代の人をさしていることもあります。（監修・田代 脩）

